WALK

令和浪漫って何？！



気にはなるけど…

着物って固すぎない？？？

着物ってもっと
高いと思ってた…。

推し活？！

推し活対応可能なのは強い。



モダン着物とは…

昔の着物にはなかった現代的な柄を使用した着物のことです。しかし、「モダン着物」のには○○年以降につくたれたものという定義はありません。

モダン着物は「着物はこうあるべき」という古くからの決まりにとらわれていない分、自由な発想で柄や色味が作られています。

着物を着る際に他の人と柄や色が被りたくない！という方におすすめです。

全体のコーディネートで個性を出しやすいこともを始め、洋風な柄も多いため、イメージがわきやすく、比較的手を出しやすいタイプになります。

現代柄とは？

オシャレを重要視した**『洋風で現代的な』**な柄のことです。

例えば、ハートやリボン、バラ、トランプ、レース、シャンデリア、ストライプ、ギンガムチェック、ビタミンカラー、ビビットカラー、絵画など豊富な柄があります。





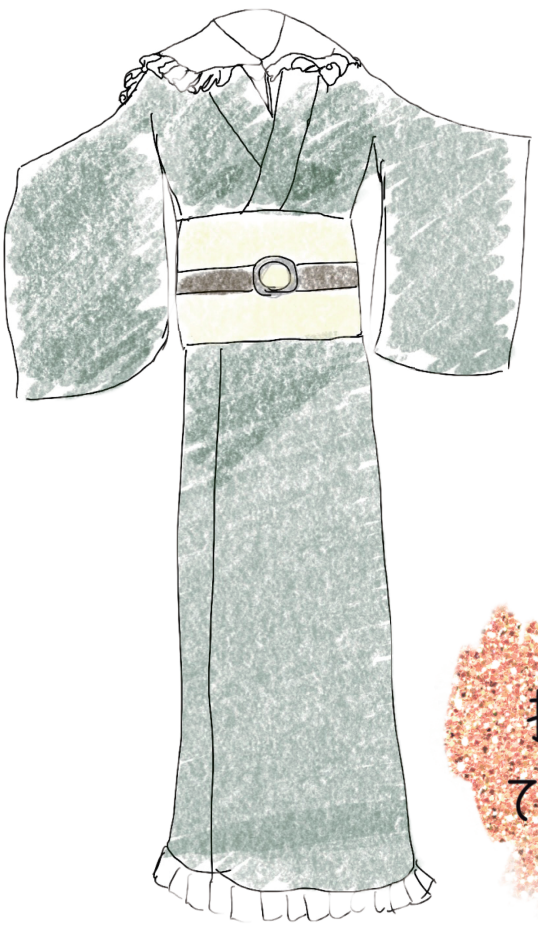


令和浪漫？

近年、着物と洋服を合わせて着る人が増えています。

『令和浪漫』と呼ばれたり、非日常的な空間が増えたこともあり、それに合わせて普段と違う服装で出かけようといった背景も理由の一つなのではないでしょうか？

着物の語源は「着る物」からきています。綺麗に着るだけでなく普段の装いとして、着る物という意味です。現代の自由な着物の着方は本来の「着物」という意味の原点にもう一度戻ったといっても過言ではないかもしれません。



、ブラウス or 付襟
、着物
、帯
、ベルト

推し活コーデも
できちゃいます！

・タートルネック
・着物
・タンクトップトップス
・帯締め

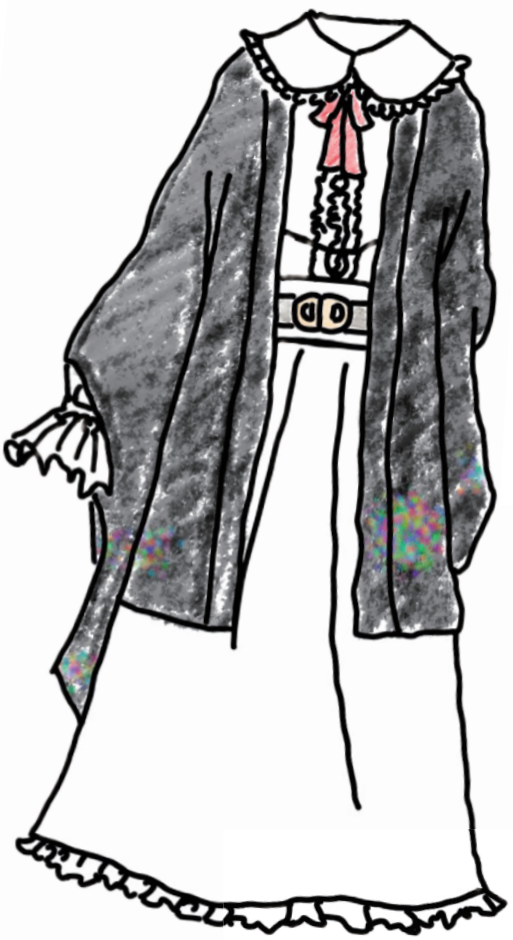




このような組み合わせなど他にも様々な着方を考案していらっしゃる方も増えてきています。

・ブラウス
・着物
・コルセット

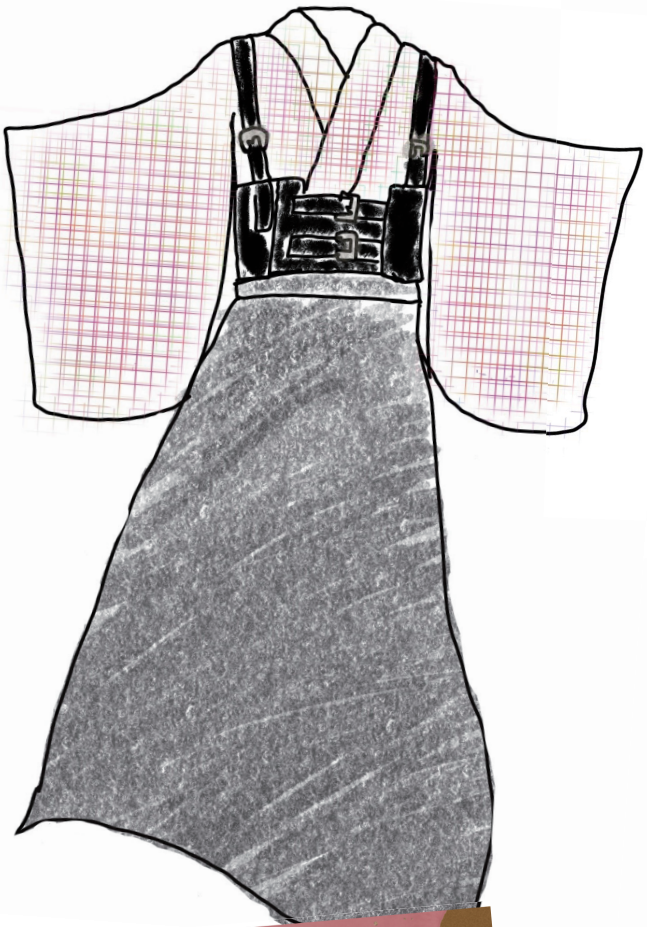
体型に左右されない着物だからこそ
よりいろんな着方ができちゃいます！



・ブラウス　・スカート
・羽織　・ベルト

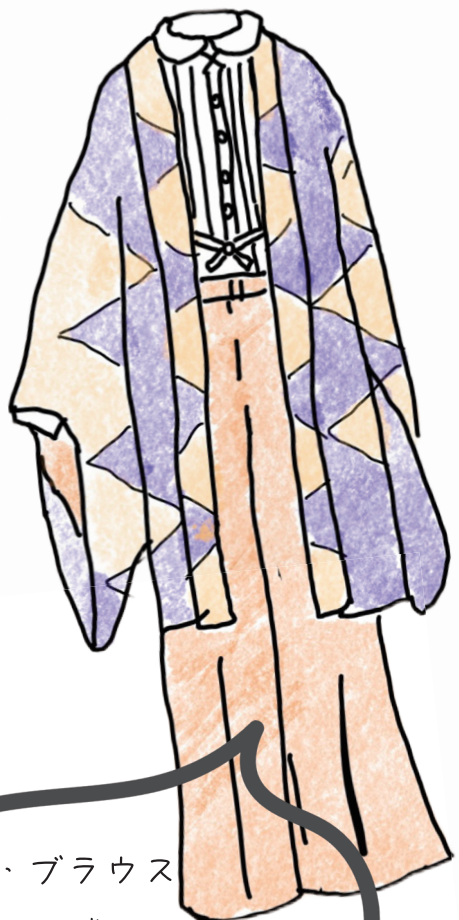


・羽織
・マーメイドスカート



・着物
・スカート
・ハーネス

初めてでも気軽に
挑戦できる！
普段のお洋服に羽織るだけ。
着物は仕舞いこむより着込むことで長持ちするので積極的に着てみるのもアリ♡



・ブラウス
・羽織
・ワイドパンツ

おすすめモダン着物











¥2,000～

買えちゃう着物も

たくさんあります♡



個性的な柄もたくさん♪
プレゼントにも♡

✧WA・KKA
✧キモノ葉月
✧OKANO
✧きもの屋五一〇





古典着物とは…

時代に左右されることなく、昔から親しまれきた日本の伝統紋様を使用した着物のことです。

古典柄とは？

日本で昔から親しまれてきた**『日本独自の伝統紋様』**のことです。

それぞれの紋様には意味が込められています。

また、多くの柄は中国から伝わった紋様が日本文化と溶け込み、独自の進化を遂げました。

その中には、日本人の誰しも馴染み深い柄も多くあります。

日本の柄



多くの柄は中国から伝わった紋様が日本文化と溶け込み、独自の進化を遂げたことで生まれました。
自中には日本人の誰しも馴染み深い柄も多くあります。
また、日本の柄の特徴の際たるは**『自然が主体』**であることです。日本独自の柄は、虫や植物が主体です。
これに対して、西洋では自然はあくまでも舞台背景でしかないのです。これは自然と共存してきた日本人ならではのものであるといえます。



ちどり

『波に千鳥』という諺もある。
勝運祈願と家内安全の縁起柄。
千鳥が波を飛ぶ姿に
「荒波と一緒に乗り越える」
という意味が含まれます。

矢絣

破魔矢と同じ邪気を払うという意味が込められています。同時に矢を射れば戻ってこないことから、婚礼の際の縁起物として使用されたそうです。

兎



兎といえば、
飛び跳ねる・前にしか進めない。
そのことから跳躍・飛躍を意味し、
物事がとんとん進むという意味が込められています。
また縁結びや長い耳から福を集めるとも言い伝えられています。

飛躍

縁結び

桜

古くから日本人に親しまれてきた日本を象徴する絵柄の一つです。たくさんの花が芽吹く春の花の象徴として、縁起の良いことの始まりを意味します。また、五穀豊穣の神が宿る木として豊かさという意味も含まれます。

蜻蛉

トンボは前にしか飛ぶことができない、後ろに下がらないことから、勝利を呼び込む「勝ち虫」として武士に縁起の良い模様として使われてきました。

アンティーク着物

「アンティーク着物」とは、明治時代・大正時代・昭和時代初期（戦前）に作られた着物のことを指します。これに対し、戦後に作られた着物は「レトロ着物」「リサイクル着物」と呼ばれています。アンティーク着物には、現代ではなかなか見られないような個性的なデザインが多く、専門のショップもあるほどです。主に「古典柄」と日本文化とヨーロッパ文化が融合した「大正ロマン」の二種類が親しまれています。
アンティーク着物の柄は現代にも通じるデザインが多いのでコーディネートのアレンジがしやすいのも魅力の一つです。

帯



『着物』ときいて多くの人が思い浮かべるのは左のような衣装でしょう。
しかし、街でよく見るこういった着物姿が確立されたのは昭和に入ってからです。
それまでも時代後ごとに着物そのものや帯の作りなど 大きく変わっていきました。
特に帯結びは着物姿で最も目に入るものであるので、時代ごとの流行によって現代でも変化し続け自由に結ばれています。

葵結び





松重ね



ふくら雀

『ふくら雀』とは、寒さがました時に全身の毛を**まん丸**と膨らませた**雀**のことを指します。

『食べ物に困らないように』
『豊かに暮らせるように』
という願いを込められており、
豊かさや繁栄を象徴する縁起物と言われています。
そんなふくら雀が飛び立つ際の羽根を大きく広げた瞬間を表現した帯結びです。



西陣織





西陣織とは、「多品種少量生産が特徴の京都（西陣）で生産される先染の紋織物」の総称で国の伝統的工芸品に指定されています。
後染よりも丈夫で、シワになりにくいのが特徴です。



友禅

友禅は、染の技法の名称で、江戸時代の元禄のころ、京都の宮崎友禅斎という絵師によって始められたと言われます。友禅の多彩華麗な色合いは、他に類をみない特徴の一つです。一枚一枚手仕事で模様を描き込んでいったり、何枚もの型紙を用いて模様を染めていく手法があります。友禅主に京都で染められるので、京友禅とも言われます。これに対し、石川県金沢で染められる友禅を加賀友禅といいます。

江戸小紋

小紋とは、小さな紋様の描かれた着物のことです。
江戸小紋は、小紋の中でも格調あるもので江戸時代の武士の礼装の紋様として発達した伝統的、古典的な小紋であるといえます。
また、柄はとても細かいもので、一色染めのため遠目には無地のようぬ見えるのも特徴の一つです。
用途も極めて高く、紋を一つ入れておくと入学式や卒業式などにも用いることができます。

藍染

武士の時代には『縁起の良い色』
明治には海外から『ジャパニーズ・ブルー』
と称えられた、日本を象徴する色の一つ。
『藍』は染色の基本とされています。
江戸時代頃は、どのような布でも染まる
ことから庶民的な染め物として幅広く、
普及しました。

大島紬

『紬』の着物は、糸を染めてから織り上げるため、全体的に色彩が渋く、素朴で民芸的な落ち着きを持っており、着れば着るほど親しみの持てる着物の代表です。

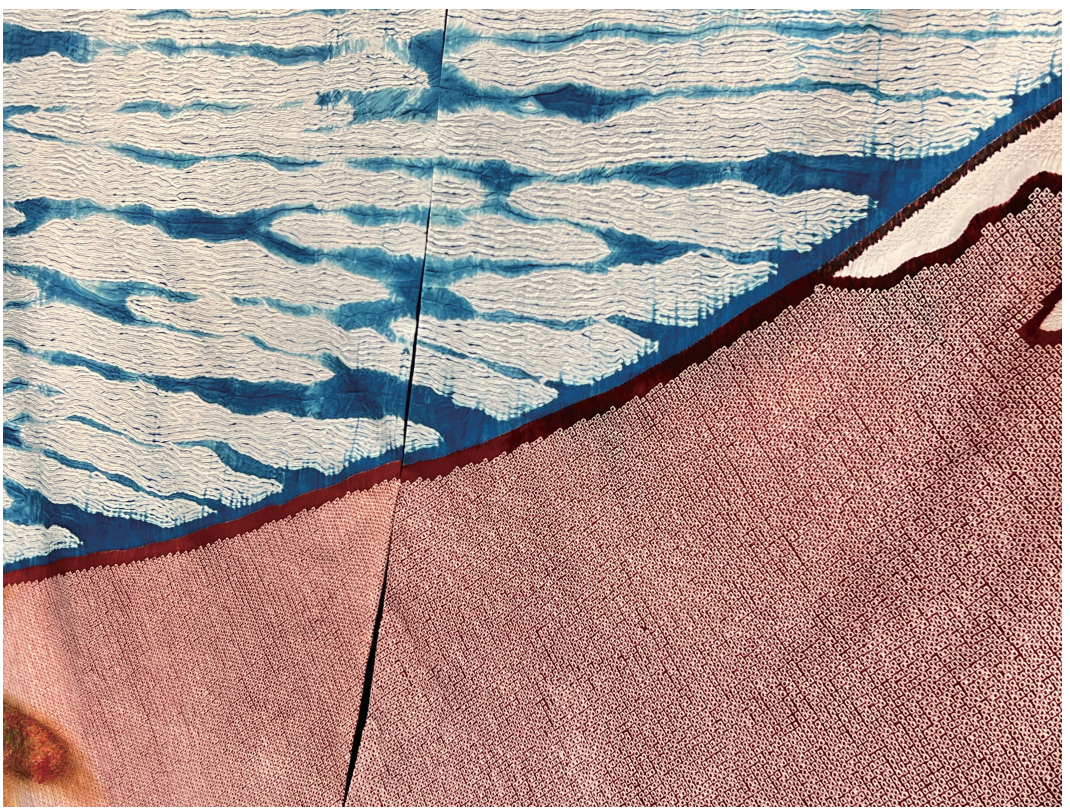
産地は鹿児島県の奄美大島と鹿児島市。

『泥染め』による絣模様が特色で、着心地の良いおしゃれ着として着ることができます。また大島紬の生地はつるりとしており、シュッとした音が出やすいです。

結城紬（茨城県）・大島紬・牛首紬（石川県）で三大紬と称されます。


紋り

日本最古の染織である『絞』は6・7世紀頃にはすでに行われていました。
生地の一部を糸でくくって防染し、染液に浸し、くくった部分を染め残して模様を作る技法でそのことから、絞り染めは大変手がこんでいて高価なのとされています。
絞り染めの中でも**「辻が花」**と呼ばれる模様は絞り染めを基調として描き絵・摺箔・刺繍などが併用したもので「幻の染め」とも呼ばれます。
また『絞り』の文字は〝糸に交わる〟と書句ことから、お嫁入り先の長く続く家系にうまく交われるようにとお嫁入りのお支度の中に『絞り』の入ったものを忍ばせたそうです。
七五三や成人式などでも子供の成長を祝う席にも喜ばれる縁起の良いものとされています。





金城学院大学
国際情報学部国際情報学科
メディアスタディーズコース
山元智代